

グローム・ホールディングス (株)

JASDAQ・G : 8938 不動産業

事業承継を通し病院関連ビジネスに特化。経営とアセットのプロが地域医療を救う！

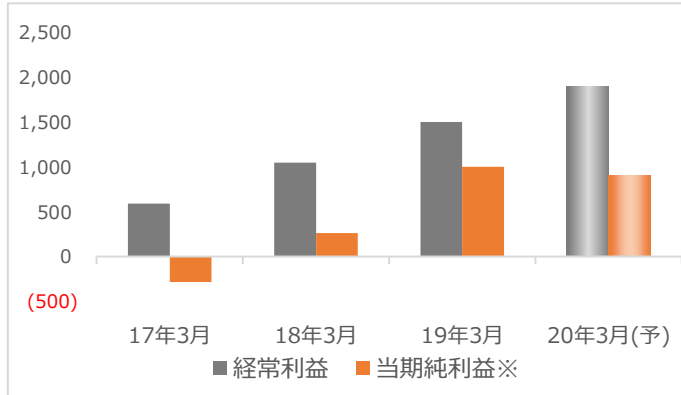
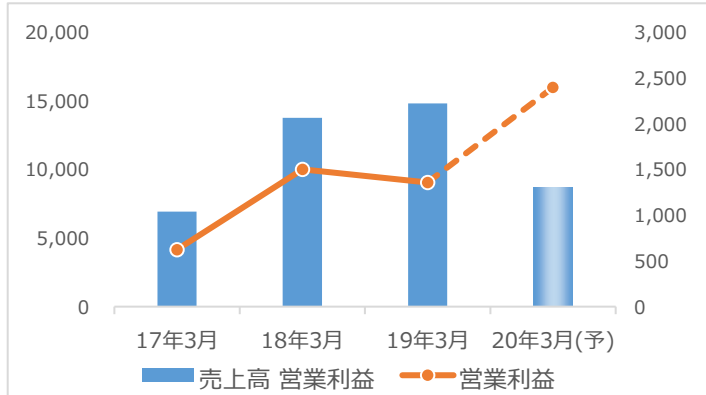
会社概要		会社名：グローム・ホールディングス株式会社 ホームページ： <a href="https://glome-holdings.com/">https://glome-holdings.com/</a>	
代表者	金子 修	発行済み株式数	5,560,400 株
本社	東京都港区赤坂 1 丁目 12 番 32 号 アーク森ビル 24 階	主要株主	普濟堂株式会社 1,713,400 株 30.8%
設立	1987 年 6 月	2019 年 9 月末	金子 修 968,800 株 17.4%
上場	2005 年 3 月		青山 英男 172,400 株 3.1%
事業内容	病院関連事業		カブドットコム証券株式会社 144,900 株 2.6%
			高橋 新 133,200 株 2.3%

【業績】 単位：百万円

決算期	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益*	EPS 円	BPS 円	配当 円	ROE %
2017 年 3 月	6,946	625	590	▲ 284	▲ 51.22	906.39	5.0	▲ 5.4
2018 年 3 月	13,774	1,504	1,049	263	47.37	942.74	5.0	5.1
2019 年 3 月	14,829	1,361	1,502	990	178.17	1081.13	5.0	17.8
2020 年 3 月(予)	8,700	2,400	1,900	900	161.87		20.0	
2020 年 3 月 3Q	7,410	740	462	102	18.52			

株価データ		2020/1/31
終値		1,070 円
予想 PER		6.61 倍
PBR		0.99 倍
時価総額		59.5 億円
上場来高値	2005 年	757,000 円
上場来安値	2012 年	317 円

※当期純利益は親会社株主に帰属する当期純利益



＜会社概要・沿革＞

1987年に東大和市を中心とした三多摩地区、埼玉県南部を地盤に倉庫をメインとした不動産賃貸事業として創業した。2005年に大阪証券取引所ヘラクレス市場（現 東京証券取引所ジャスダック市場）に上場。2009年には子会社を通じて不動産ファンド事業に進出。2016年から病院・医療関連施設の不動産を組入れた REIT への取り組みを開始。2018年6月にトップが交代、金子体制となり病院関連事業に特化する方向へ大きく舵を切った。医療と関係のない商業施設等のアセットはほぼ売却が完了した。今後は病院関連事業のフィー収入が中心となるため、売上高は従来よりも小さくなるが利益率は高いビジネスモデルなる。

2019年9月に中国の普濟堂（株）が前社長関係の株式を買い取り筆頭株主となった。クラウドファンディング頼る資金調達手法も見直し、11月に北京北大青島投資有限公司（北京大学 OB による VC）から30億円、12月には西京銀行（本店：山口県）から20億円の借入を実施、財務基盤を整えた。また、10月に LC ホールディングスからグローム・ホールディングスへと社名を変更。グロームはグローバルとメディカルを繋げた造語。グループの体制も見直し、病院関連ビジネスを推進するのは、病院の経営支援等を行うグローム・マネジメント、病院不動産の管理、バリューアップを担当するグローム・プラス、人材面での支援や在宅医療を行うグローム・ステイ、メディカルツーリズムなどインバウンド向けビジネスを展開するグローム・コネクの4社と、アジア向けサービスの展開を担当するグローム・アジア（予定）という布陣。不動産業から医療関連サービス業への転換はほぼ完了しており、2～3年のうちには業種も現在の不動産からサービス業（ヘルスケア）に変更されると思われる。2019年5月に公表されている中期経営計画によると2021年3月期は、売上高110億円、営業利益25億円、経常利益20億円となっているが、変革期にあるだけに修正される可能性は大きい。毎年5月に発表される中期経営計画は要注目だ。

＜事業戦略＞

当社の事業戦略は明確だ。取り組んでいるのは、医療法人の事業を承継し、運営を「医療」「経営」「アセット」に分離、それぞれのプロが役割を果たすこと、そして、グループとして複数の施設を運営することによるコンソリデーションメリットを享受することで、現場に負荷をかけることなく、より良質の医療サービスを提供することだ。対象とする病院関連施設は、病床数50～200床の中規模医療法人で療養型、回復型、終末型、在宅型。これらの医療法人の中には、利用者も多く地域にとっては不可欠であるのに、地理的条件や承継に係るコストの問題などから経営を引き継ぐ者がおらず、いずれ閉院せざるを得ない病院が多くある。当社はこれらの病院の事業を承継し、備品の一括発注によるコストダウンや薬品在庫の一括管理など、グループとしてのシナジー効果を図ると同時に、在宅訪問事業、メディカルツーリズム、給食といった周辺ビジネスを展開することで事業を拡大していく方針。2019年12月現在、事業承継した病院は、22医療法人、36施設（3,034床）で、今後は年間20以上の医療法人の事業を承継する計画を立てている。今期は、まだ不動産の売却による売上が多く不動産カテゴリーとして評価されているが、来期以降は売上高の大半を医療関連のビジネスが占める。サービス業（ヘルスケア）として認知されれば現在の株価水準のようなPER10倍以下で放置されることは考えにくい。

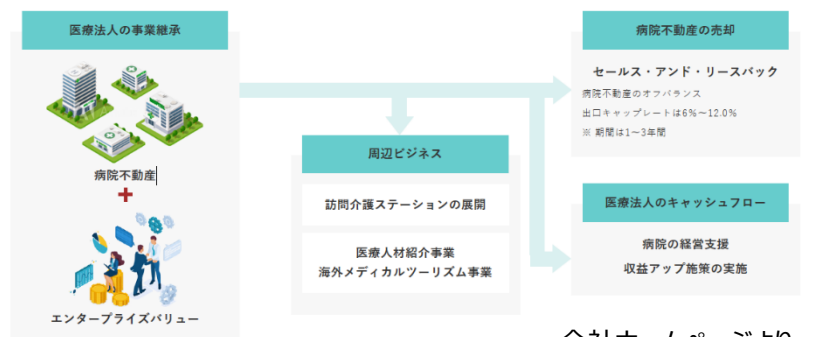
2019年9月に厚労省が再編検討対象として全国の公立病院424病院を公表したが、地域医療の再編、病院の事業承継問題は深刻で対応急務な問題だ。日本では医師が医療法人のトップとして病院経営を担ってきた。しかし、精神的負担も大きい医療現場にあって、トップが経営や事業承継に割ける時間は少ない。不動産の管理、バリューアップを得意とし、病院経営コンサルタントチームが加わったグローム・ホールディングスは、承継者不在で存続の危ぶまれる中堅病院とその利用者（地域周辺住民）にとって救世主となるかもしれない。

【事業承継医療法人】

病院	21
診療所	10
介護老人保健施設	5

アライアンス実績

36施設 (3,034床)



会社ホームページより



クリック！ IR 情報はここからご確認頂けます